

第9号諮問に係る

第5回世田谷区清掃・リサイクル審議会

令和6年12月3日(火)

第9号諮問審議予定

(第8～9期:令和5年10月～令和8年5月(予定))

諮問内容

『資源循環型社会の実現に向け区民・事業者の行動変容を促し、更なるごみ減量・リサイクルを推進する新たな施策について』

第1回 清掃関連施設見学(可燃・不燃・資源・普及啓発)

第2回 清掃・リサイクル行政が抱える現状と課題について

審議テーマ① デジタル技術等を活用した新たなごみ減量施策等について

今日はここ 

(まとめ)

(第3～5回(予定)) ・より効果的な普及啓発に向けた取組

・収集業務等、現場作業の効率化に向けた取組 等

審議テーマ② 経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について

今日はここ 

(第5～8回(予定)) ・経済的インセンティブ等を活用した取組

・家庭ごみの有料化 等

第9回(予定) 答申(素案)のまとめ

第10回(予定) 答申(案)のまとめ

本日の流れ

審議

今日のテーマ① 『より効果的な普及啓発に向けた取り組み③』

約30分

- ・第3回・第4回まとめ 今後の世田谷区の普及啓発の柱について

今日のテーマ② 『経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について①』

(事務局説明) 約15分

- ・当テーマについての審議の進め方
- ・経済的インセンティブ等を用いた取り組み

(審議) 約60分

今日のテーマ①

『より効果的な普及啓発に向けた取り組み③』

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』 まとめ

第3回・第4回でいただいたご意見(一部抜粋)

子どもを通した親世代への啓発が効果的では ／ 有料化は関心を高める手段として効果的
Web上でアクセスしやすい環境があると無関心層にも届きやすいのでは ／ エコプラザ用賀の更なる活用
多少有料でも辛い所に手が届く制度があると行動しやすい ／ 若者にはネガティブ表現では届かない
人の行動原理としてお金やポイントなどのインセンティブは有効 ／ 学生向きの勉強の場・周知の場の確保
日頃目に付く場所を使つての啓発が有効では ／ 子どもが興味を持つと家庭内へ良い影響がある
ナッジ理論を活用した無関心層へのアプローチ ／ ポイント付与で店頭のペットボトル回収量が増えた実績あり
審議会に大学生に参加してもらい、学内で広めてもらう ／ 地域団体として効果的な普及啓発が難しい
GRとしても大学などと連携していきたい ／ 無関心層は若年層が多いのではないか
町会やGRメンバーが高齢化しておりICT化が進まない ／ ポスターを募集をして区長賞等を区内様々に掲示
関心の高いであろう高齢層はアナログ、関心が低いと思われる若年層はデジタルというギャップ
ポイ活などのインセンティブは有効 ／ 郵便局と連携したポスター掲示や古着回収が有効では
楽しく少し得したと感じ、そして学びになる施策 ／ 子どもたちがやってよかった・いいことしたと思える取り組み
分別を細分化し、もっと資源化を進めるべきでは ／ ごみ処分には経費が掛かることを積極的にPR
身近な場所にリユース品を持ち込める場所があると有効 ／ デジタルネイティブである20代をもっと活用
大学内で譲渡システムがあると粗大削減に繋がる ／ イベントでのチラシ配布は無関心層が受動的に知る機会
区内50%を占める単身層へのアプローチが難しそう ／ 特に単身・共同住宅・30歳以下をターゲットにした施策
子育て世代は忙しく、情報にリーチする暇がない

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』 まとめ

第3回・第4回でいただいたご意見(一部抜粋)

プラスチックをリサイクルに出せる場所が少ない / 薬の包装シートリサイクルに世田谷区も参加してみても / 事業者とのタイアップなど、官民連携した施策で効果アップが期待できるのでは / 製造時から処分時のことを考えた商品づくりができないか / リサイクルに積極的な企業を活用した取り組み / 廃油回収の充実を / 減量目標を他自治体と相対比較できるとよい / 区内で利用される食品トレイの材質を統一できないか / 良い施策でも区民が知らないものも多い / 審議会として区に強化してほしい施策を指摘してもいいのでは / インセンティブが働く仕掛け作りが重要 / スーパーの店頭回収ペットボトル以外にインセンティブ付けるのは難しい / ごみ減量・リサイクルの必要性をもっと周知すべき / 地域資源の活用で効果アップ / 企業もリサイクルを考えた製品や新たなリサイクルルートを模索している / エコプラザ用賀は利便性が高い / 試してみて良さに気付いて初めて行動変容に繋がる / 消費者の意識改革が必要 / 行動変容に向けてどういう伝え方をすることが重要 / 一人当たりの「ごみの排出量」や「ごみの収集経費」の世田谷区のポジションはどのようなになっているか指標で訴えていくのが効果的 / なぜごみを減らさなければいけないのかを伝え、世田谷区内全域に「3R」と分別収集の徹底を周知する

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』 まとめ

主な具体的な施策の例

- ・エコプラザ用賀のリユース機能の拡充
- ・啓発イベント等による来場者への情報周知機会の創出
- ・WEBでアクセスしやすい環境をつくる
- ・引っ越し業者等と連携したリサイクルの拡充
- ・資源回収品目の拡充(トレイ、廃油等)
- ・郵便局との連携
- ・処理経費の周知が重要
- ・リサイクルに積極的な企業と連携した取り組み
- ・せたがやPayと連携したインセンティブ

など

主な施策の方向性の例

- ・子どもたちを通じた啓発施策の重要性
- ・若者・単身世帯をターゲットにした施策展開
- ・人の行動原理としてインセンティブは効果的
- ・情報へのリーチをいかにしやすくするか
- ・ナッジ理論を活用した無関心層への取り組み
- ・消費者の意識改革を促す取り組み
- ・大学や地元団体と連携した取り組み
- ・若者や単身世帯にデジタルを活用した取り組み
- ・様々なリソースを活用した参加機会の拡大

など

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』 まとめ

個々のご意見をまとめると…

これからの時代、全ての役割を行政が一手に担うのではなく、企業や大学、町会やNPOといった地域活動団体など、地域で活動する様々な団体との協働や役割分担することでこれまで以上に効果的な普及啓発施策の効率的な展開が期待できる

また、これらの地域資源を繋ぐこともこれからの行政の大切な役割
各団体が行っているそれぞれの得意分野を活かした取り組みを繋ぐことで、区民の新たな興味・関心を引き出し、行動変容へと繋げる

施策の実施にあたっては、ごみ減量やリサイクルへの関心度に応じ、どの層をターゲットとするかを明確にし、どのような地域資源と連携することが効果的か、また施策の中身も各層の興味・関心度合いに応じデジタルを活用した広報や参加型イベントの実施など、参加機会の拡大を図ることが大切

その際は、デジタル技術やインセンティブを活用した活動に参加したくなる環境づくりや、誰もが情報にリーチしやすい環境整備が効果的である

テーマ:『より効果的な普及啓発に向けた取組』 まとめ

今後の世田谷区の普及啓発の方向性の柱

- 区民・事業者のごみ減量やリサイクルへの興味・関心の度合いに応じたアプローチ
- 企業や大学、地域活動団体など、地域資源との連携や役割分担による施策展開
- 将来を担う子どもたちへの環境学習の拡大

施策をより効果的なものとする手法として、**デジタル技術等も積極的に活用**



これらの普及啓発施策を通して参加機会の拡大を図り、
区民・事業者の行動変容を促す

今日のテーマ②

『経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について①』

経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について

(審議の進め方)

【第5回】 経済的インセンティブ等を活用した取組について①

- ・概要説明
- ・世田谷区の現状 / 事例紹介
- ・審議

【第6回】 経済的インセンティブ等を活用した取組について②

- ・審議の続き
- ・まとめ

【第7回】 家庭ごみの有料化について①

- ・これまでの検討状況
- ・事例紹介
- ・審議

【第8回】 家庭ごみの有料化について②

- ・審議の続き
- ・まとめ

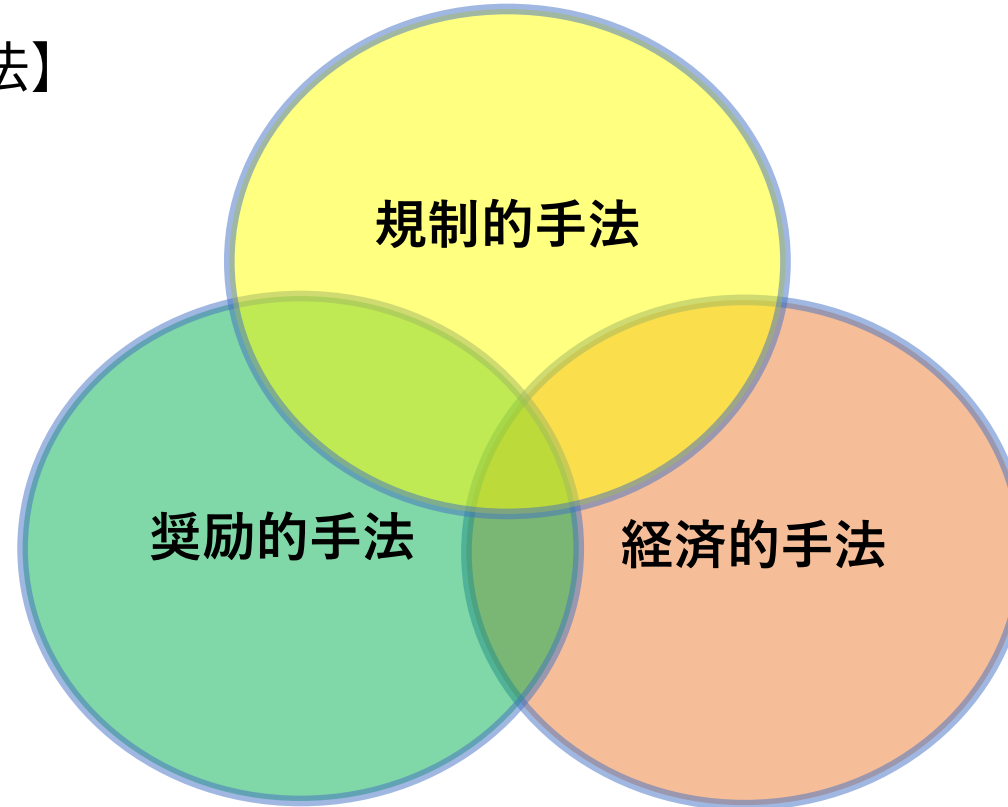
経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について

【ごみ減量施策の主な手法】

種別	概要	メリット	デメリット
規制的手法	法令を根拠として区民や事業者の行動を直接的に制約するもの	・すべての区民を対象とすることができ、必要に応じて罰則規定を設けるなど強制的に行動を制約できる	柔軟性に欠ける
奨励的手法	各経済主体の自主的な取組の促進を狙いとしたもの ごみ減量・リサイクル推進の取組を支援する枠組の提供を通じて、自治体による区民や事業者の自主的な取組を促す	・区民・事業者の意識を高め、環境配慮行動を促進できる ・任意参加を基本とするので区民・事業者のプログラムに対する受容性が高い ・プログラムの制度設計や運用に自治体の創意工夫を活かせる ・区民・事業者と行政が連携しながらプログラムを推進できる	参加者がもともと環境意識の高い層に限定されがちである
経済的手法	価格メカニズムを活用して各経済主体の減量への意識と行動を引き起こすもの 経済的なインセンティブの提供により、価格メカニズムを通じて区民・事業者の行動を政策が意図する環境配慮の実践に導く	・基本的にすべての区民を対象とすることから、奨励的プログラムに参加せず啓発情報が届きにくい層に対しても環境配慮行動を誘発できる	経済的インセンティブの付与による行政の予算増や家庭ごみ有料化等による経済的負担の発生

経済的手法等を用いたごみ減量施策の実現性について

【ごみ減量施策の主な手法】



多くのごみ減量施策は単一の手法ではなく
複数の手法を組み合わせている

インセンティブとは・・・人々の意思決定や行動を変化させるような要因・報酬のこと

(主な種類)

- ・ 経済的（物質的）インセンティブ・・・金銭、物品
- ・ 評価的インセンティブ・・・評価、表彰
- ・ 人的インセンティブ・・・人間関係
- ・ 理念的インセンティブ・・・理念、価値観
- ・ 自己実現的インセンティブ・・・目標、将来のビジョン

金銭的インセンティブによるフィールド実験

金銭的インセンティブを活用した研究事例
(健康関連分野において多くの事例あり)



経済的インセンティブを付与することにより一定の効果が
見込まれる。

※インセンティブ付与後の効果の
継続性についてはバラつきがある。

表1 金銭的インセンティブによるフィールド実験

	Acland and Levy (2015).	Charness and Gneezy (2009).	Halpern et al. (2015).	Royer et al. (2015).	Volpp et al. (2009).
アウトカム	ジムの参加率	ジムへの参加率	禁煙成功率	ジムの参加率	禁煙継続率
対象	大学生、大学職員	大学生	従業員とその家族 および友人	企業の従業員	従業員
サンプル数	120 人	120 人	2,538 人	1,000 人	878 人
期間	1 年半	9 週間	6 カ月	2 年間	18 カ月
介入種別	報酬	報酬 (2 種類)	報酬、デポジット (4 種類)	報酬、コミットメント	報酬
効果の有無 ¹	○	○	○	○	○
介入詳細	・1 週間当たり 2 回以上参加すると \$100.	・2 種類の介入 ・週に 1 度ジムに参加することで \$25. ・週に 1 度ジムに参加すると \$25, その後の 4 週間に最低 8 回ジムに参加すれば追加で \$100.	・(個人、団体) × (報酬、デポジット) の 4 種類の介入: ・個人: 参加者個人の禁煙成功に応じて報酬. ・団体: 禁煙成功報酬は禁煙成功者に対して支払われ、グループ内の成功率に応じて報酬が増加. ・報酬: 6 カ月間の禁煙成功で \$800. ・デポジット: 初めに \$150 支払い、6 カ月間の禁煙成功でデポジットの返金分を含め \$800.	・4 週間の間、最大週に 3 回まで 1 回ジムに参加するごとに \$10. ・報酬に加え、自身が定めた金額を積み立て、8 週間続けてジムに参加しなければ没収される (コミットメント).	・禁煙プログラムの完了に対して \$100, そのうえで 6 カ月以内に禁煙に成功すれば \$250, 禁煙を 6 カ月以上続けることに対して \$400.
結果詳細	・トリートメント群で介入終了後の 8 週間でのジム参加率が上昇. ・その後の期間については有意差なし.	・追加で \$100 もらえるグループでのみ、介入によりジムの参加率が上昇.	・トリートメント群すべてで禁煙成功率は上昇. ・6 カ月間の禁煙成功率に団体・個人での効果の違いはみられない. ・デポジットよりも、報酬での介入の方が効果が高い.	・金銭的インセンティブのみのグループでは、開始後半年は効果がみられるが、その後の効果の持続はなし. ・金銭的インセンティブ+コミットメントのグループについて、開始後 2 年間にわたり高い参加率.	・9 カ月、12 カ月目時点でトリートメント群で禁煙継続率は高く、15 カ月、18 カ月目で見てもトリートメント群における禁煙継続率は高い.

¹ 効果がみられた場合に○, 効果がみられなかった場合×.

経済的インセンティブを活用した取組

【世田谷区】

・資源の集団回収

家庭から出る資源（古紙や缶、びんなど）を、町会・自治会・集合住宅など地域の団体が、自主的に回収を行い資源回収業者に引き渡すリサイクル活動

→回収量に応じて団体に奨励金を支給するなどの支援

【単位：団体】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動団体数	702	609	606	604	611
うち行政 回収休止	459	381	387	396	407

*各年度末現在

経済的インセンティブを活用した取組

【世田谷区(福祉)】

(目的)高齢者の閉じこもりの解消および介護予防の機会を創出すること

(内容)ラリースポット(協力店舗や施設)を訪問し、チェックインすると1ポイント獲得。50ポイント貯まったら、せたがやPayのコイン500円分と交換可能

(対象)区内在住の65歳以上の方

健康長寿への一歩は、1日1回のお出かけから。

めざせ
元気シニア!

せたがや

デジタルポイントラリー

で毎日「ちょこっと外出」しませんか?



スマートフォンを持って、区内の協力店舗や施設(約280か所)をまわり、ポイントを集めて楽しむイベントです。一人でも、お友達とでも、いつでも気軽にご自身のペースで参加でき、貯まったポイントはせたがやPayのコインと交換できます。地域には、緑あふれる公園、落ち着いた喫茶店、仲間との集いなど、楽しんだりホッと一息ついたりできるスポットがいっぱい! 毎日の「ちょこっと外出」をきっかけに、がんばりすぎないペースで、楽しく元気シニアを目指しましょう!

対象 世田谷区にお住まいの65歳以上の方^{※1}で、区が実施するアンケート調査にご協力いただける方
※1 令和7年3月31日までに65歳を迎える方も対象です。

期間 令和6年 10月1日(火) ~ 令和7年 3月21日(金)
お申込み開始は 令和6年 9月2日(日) 午前10時から

主催: 世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課



世田谷区高齢福祉部介護予防・地域支援課

評価的インセンティブを活用した取組

【世田谷区】

- ・ **食品ロス削減推進ポスターコンクール**

未来を担う区内の小学生が食品ロスについて学び、食べ物の大切さや未来の地球環境を守ること等への理解と関心を深めることを目的として実施

→表彰された作品は区内公共施設のデジタルサイネージにより配信

評価的インセンティブを活用した取組

【3R推進協議会】

- ・3Rに率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている者を表彰

※世田谷区も(株)ジモティーと連携した事業で環境大臣賞を受賞（令和6年度）

【新宿区】

- ・区内の地域や事業所などでごみの減量・資源循環型社会の形成に貢献した個人・団体を表彰

今日の審議の進め方

テーマ：『経済的インセンティブ等を活用した取組』①

・ごみ減量に効果的なインセンティブについて

個人として、企業として、団体として、ごみ減量やリサイクルに協力したくなるインセンティブはどのようなものですか？

審議会委員として、区に取り組んでほしいインセンティブを活用した施策はどのようなものですか？

次回(第6回)の審議内容

(予定)

- 第5回に引き続き、ごみ減量に効果的な経済的インセンティブ等を活用した取組についての意見出し・まとめ